

平成 29 年度第 4 回横須賀市スポーツ推進審議会 会議録

- 日 時 平成 30 年（2018 年）3 月 28 日（水）15:30～17:00
- 会 場 横須賀市職員厚生会館 第 3 研修室
- 出席者 横須賀市スポーツ推進審議会委員（敬称略 50 音順）
委員長職務代理者：鈴木満
磯部忠、加藤努、工藤幸久、東海林義勝、鈴木志保子、
醍醐一朗、滝川満弘、武雅兄、野地武司、安田政樹

欠席

伊藤隆義、田中靖和、山口昭生

事務局（8 人）

文化スポーツ担当部長：野間俊行

スポーツ振興課長：植野不二夫

スポーツ振興課主査：石川勝人

スポーツ振興課係長：柴崎正、蛭田茂穂

スポーツ振興課担当者：平澤健太（記録）

保健体育課長：鎌原徳宗

保健体育課係長：志村康浩

傍聴者 なし

- 議事次第 開会
- 1 事務局あいさつ
 - 2 議題
 - (1) 平成 29 年度スポーツ関係事業進捗状況について
 - (2) 平成 30 年度スポーツ関係事業概要
 - 3 報告事項
 - (1) 横須賀市スポーツ推進計画について
 - 4 意見交換

■資 料 【配付資料】

- 1 横須賀市スポーツ推進審議会委員名簿

- 2 平成 29 年度スポーツ関係事業進捗状況
- 3 平成 30 年度スポーツ関係事業予定
- 4 平成 30 年度における組織の改正について
- 5 意見交換シート

【当日配付資料】

- 1 平成 30 年度スポーツ・学校体育関係事業概要
- 2 横須賀市スポーツ推進計画

開会

事務局（主査）が、平成 29 年度第 4 回横須賀市スポーツ推進審議会の開会を告げた。

1 事務局あいさつ

□事務局（文化スポーツ担当部長）

みなさま、こんにちは。文化スポーツ担当部長の野間でございます。本日は、年度末のご多用の中、お集まりいただきまして、ありがとうございます。事務局を代表しまして、一言あいさつをさせていただきます。

本年度も残りわずかとなりましたが、本日の会議は、年間の最後の会議であると同時に、皆様の 2 年間の任期の最後の会議となります。皆様には、日頃のスポーツイベントのご参加だけでなく、昨年度は事務の移管に際し、とても貴重なご意見をいただき、そして今年度はスポーツ推進計画の策定に関して非常に多くのご提案をいただくなど、新たな船出を迎えたスポーツ振興課を支えてくださり、本当にありがとうございました。

4 月から新設される「文化スポーツ観光部」では、市民レクリエーションの提供や選手の育成など、現状の事業を展開しつつ、文化・観光といった側面も絡めながら、新たなスポーツの可能性を探り、邁進していきたい所存でございます。

それに伴い、本日の意見交換の場では、来年度以降に向けて、より多くのご提案を賜りたく思います。

また、「平成 30 年度スポーツ関係事業に関する予算について」は昨日閉会しました、市議会第 1 回定例会においてご承認をいただいた内容でございます。皆様には、内容をご確認いただくと共に、実際の執行にあたってのご意見等を頂戴できるとありがたいと考えております。それでは、任期の最後の会議ですが、よろしく願い申し上げます。

□事務局（主査）

それでは、これより議事に移らせていただきます。委員長欠席により、議長は委員長職務代理者をお願いいたします。

□委員長職務代理者

それでは、議事に入る前に、本日の定足数について、事務局からお願いします。

□事務局（主査）

定足数についてご報告いたします。スポーツ推進審議会条例第4条に「審議会は、委員の半数以上の出席がなければ会議を開くことができない」とあります。本日は14名の委員のうち11名のご出席をいただいておりますので、会議は成立いたします。

□委員長職務代理者

次に、傍聴者の確認ですが、本日の会議の傍聴を希望される方はいらっしゃるのでしょうか。

□事務局（主査）

本日の傍聴者はいらっしゃいません。

2 議題

(1) 平成29年度スポーツ関係事業進捗状況について

□委員長職務代理者

事務局から説明をお願いします。

□事務局(主査)

A3の資料2をご覧ください。

平成29年度のスポーツ関係事業進捗状況について記載しております。第3回の審議会以降では、2月10日に、ヨコスカ・ベイサイド・ポケットで「横須賀市スポーツ表彰式」を行いました。今年度は、体育功労者12名、スポーツ栄光章は団体11チームと個人69名を表彰いたしました。体育功労者は、長年本市の体育・スポーツの普及、振興に功績のあった方を表彰し、スポーツ栄光章は、本県を代表し、全国・国際大会等で活躍したチーム及び個人の栄誉を称え表彰するものです。表彰式後には、横浜F・マリノスアンバサダーの波戸康広氏に「夢」をテーマにご講演いただきました。

委員の皆様には、この2年間行事に足を運んでいただき、さまざまな部分でご協力いただいたことに、改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。説明は以上となります。

□委員長職務代理者

ただいまの説明につきまして質問・ご意見がございましたらお願いいたします。

⇒意見なし

(2) 平成 30 年度スポーツ関係事業概要について

□委員長職務代理者

事務局から説明をお願いします。

□事務局（主査）

資料 3 をご覧ください。こちらは平成 30 年度に予定しているスポーツ関係事業予定です。こちらにつきましても、スポーツ振興課で担当する事業と保健体育課で担当している事業のみを記載しておりますので、あらかじめご了承ください。30 年度につきましては、メインアリーナの競技場の工事を行う関係で、例年と会場が異なる行事が多くあります。

続きまして、平成 30 年度の予算概要について各係長から説明申し上げます。

□事務局（社会体育係長）

それでは、お手元の当日配付資料 1 をご覧ください。平成 30 年度のスポーツ関係事業について、ご説明いたします。

No. 1 の給与費から、2 頁の一般事務費まで、今年度とほぼ同様の事業を計画しております。特に、前年度と変更のあった主な 2 点についてご説明いたします。

1 点目は、No. 8 の「各種競技大会事業」です。その中の「三浦半島県下駅伝競走大会」につきましては、昨年 10 月に開催されました本審議会でご説明したとおり、平成 29 年度の大会は開催を見送りしましたが、平成 30 年度の開催に向けて安全対策の強化のため、警備員や走路員の増員に伴う経費を増額して計上しております。

2 点目は、No. 10 の「市民レクリエーション行事等」です。毎年体育の日に開催しております「よこすかスポーツフェスタ」の内容を拡充し、横須賀リーフスタジアムの会場において、横浜 F・マリノスふれあいサッカープロジェクトのコーチによるサッカー教室を開催していましたが、今年は子どもたちにトップレベルの選手を間近に感じ、本物に触れてもらうことを目的に横浜 F・マリノスの現役プロサッカー選手を講師としてお招きして、サッカー教室を開催するための講師謝礼を新たに計上しております。

以上、社会体育関係全体の予算といたしましては、2 頁の最終行に記載のとおり、1 億 7,643 万 9 千円で、各事業ごとに増減はございますが、トータルでは前年度比 10 万 6 千円の増となっております。以上で社会体育関係の説明を終わります。

□事務局（施設係長）

続きまして、施設関係の事業を説明いたします。

No. 1 の「体育会館管理委託費」は、指定管理者であるスポーツコミュニティよこすかに平成 30 年度分の指定管理料を支払うものです。なお、今年度、次期指定管理者の選考を行い、現行のスポーツコミュニティよこすかが指定され、引き続き今後 4 年間の業務を行います。

No. 2 の「体育会館営繕工事費」は、記載のと通りの工事を予定しており、この 2 月から着工しております。総合体育会館メインアリーナ天井その他改修は、今年の 12 月末までを工期としています。利用者の皆様には長期間にわたりご不便をおかけしております

が、施設の耐震性向上のための事業でありますので、引き続きご協力をお願いいたします。

No. 3の「事務費等」のうち、修繕料は、サブアリーナの非常用発電機や、北体育会館のシャワー室、トイレ、プールエリアの部分修繕などを予定しております。また、体育器具購入費は、卓球台、体操用マット、水中用車いすなどの購入を予定しております。

以上、体育会館に係る予算は、約11億1,000万円、前年度比で約1億1,800万円の増加となります。これはメインアリーナ天井その他改修をはじめとした大きな改修工事が重なることが主な理由です。以上です。

□事務局（学校体育係長）

続きまして、平成30年度の学校体育関係事業概要についてご説明いたします。

No. 1の「学校体育指導業務」から、5頁、No. 19の「高等学校水泳プール運営」まで、今年度とほぼ同様の事業を計画しております。

まずは、4頁のNo. 1の学校体育指導業務は、学校教員と児童生徒を対象とした講習会や研修会の開催費用、児童生徒体力・運動能力、運動習慣など調査集計委託費用などの費用です。No. 3の小学校児童各種行事及び記録大会は、小学校児童を対象とした相撲大会や陸上記録会などの開催経費です。No. 4の小学校水泳指導関係は、水泳プール未設置校の水泳授業を実施する経費や各小学校の水泳実技指導者を派遣する経費です。No. 5の中学校武道実技指導者派遣は、平成23年度からの武道必修化に伴う実技指導者を派遣する経費です。No. 6・7は、横須賀市中学校総合体育大会、総合開会式及び参加生徒の交通費、中学校駅伝競走大会及び中学校各種運動競技新人大会を開催するための経費です。

5頁をご覧ください。No. 8の全国・関東・県下中学校各種競技大会選手派遣は、本市を代表して出場した生徒に激励費などを支給するための経費です。No. 9の中学校運動部活動指導者派遣は、顧問の競技経験や指導経験がないなど、各学校の実情に応じ、専門の技術者を派遣して、学校の部活動運営を支援するための経費です。No. 11の高等学校運動部活動強化育成は、市立横須賀総合高等学校の運動部活動の活性化を図るための事業で、6部活動の指導者派遣費用（29年度、陸上・アーチェリー・ラクビー・硬式テニス・ソフトテニス・野球）、運動部活動検討委員会及び部会の設置費用、栄養指導支援業務の委託などの経費です。No. 13, 14は、本市を代表して全国・関東大会に出場した高等学校生徒の激励費などの経費です。No. 15, 16は、ろう学校における、運動部活動指導者謝礼、全国・関東大会出場の激励費などの経費です。No. 17, 18, 19は小中高の学校プール運営で、学校プールの運営・維持管理するための経費です。

学校体育関連予算として19事業、計8千651万8千円の予算計上となります。前年度予算と比べ910万9千円の減となっています。主に、全国中学校体育大会の開催会場の変更（九州地区→中国地区）により激励費予算が減り、また神奈川県中学校総合体育大会の開催地負担金が減額されたためです。以上で学校体育関係の予算説明を終わらせていただきます。

委員長職務代理者

ただいまの説明につきまして質問・ご意見がございましたらお願いいたします。

⇒意見なし

3 報告事項

(1) 横須賀市スポーツ推進計画の策定について

委員長職務代理者

事務局から説明をお願いします。

事務局（主査）

「スポーツ推進計画」についてご説明いたします。今までに本審議会において、今年度策定する「横須賀市スポーツ推進計画」についてご説明させていただきました。

前回ご説明させていただきましたがスポーツ基本法にのっとり、教育委員会へ意見照会を行ったところ、「計画案に異議はありません」との回答をいただきました。また、パブリック・コメント手続（意見募集）結果につきましては、ホームページ及び各行政センターに配架するという形で公表いたしました。市議会へも、市議会3月定例会において最終報告をいたしました。

今回の策定において、委員の皆様には数々のご協力を頂戴いたしまして、ありがとうございました。今日、最終版の計画案をお配りさせていただきました。今後は、目標に沿った事業や進捗管理などを行っていく予定です。1年間ありがとうございました。説明は以上です。

委員長職務代理者

ただいまの説明につきまして質問・ご意見がございましたらお願いいたします。

⇒意見なし

4 意見交換

委員長職務代理者

事務局から説明をお願いします。

事務局（平澤）

資料4をご覧ください。

第3回の審議会の場合でも、課長より申し伝えましたが、平成30年度に新たな組織改正として、市長の構想の一つである「音楽・スポーツ・エンターテイメント都市構想」を推進するべく、文化スポーツ観光部を新設します。

この構想は、音楽やスポーツを中心としたエンターテインメントの力を使い、横須賀に住んでいる人が楽しくなり、さらに市外の人を惹きつけるような都市にしようというもので、音楽フェスティバルやダンスフェスティバルの開催、トップアスリートが集う場の提供や大規模なスポーツ大会の誘致など、文化やスポーツを一つの観光資源として、市民はもちろん、観光客ももっと楽しめるまちづくりを進めていくというものです。

文化スポーツ観光部の所管部署は、資料に記載のとおりであり、スポーツ振興課の事務室につきましては、今年度からの変更はございません。

ちなみに資料4の下の欄には、参考として「スポーツ庁、文化庁及び観光庁の包括的連携協定」を一部抜粋しておりますが、自治体のみならず、国においても、東京オリンピック・パラリンピック等の世界的スポーツイベントが控えていることもあり、文化とスポーツと観光を融合させ、新たな価値を創出していくことが求められています。

皆様には事前に、審議会資料と一緒に「意見交換シート」を同封させていただきました。意見交換シートの1番にあります、「音楽・スポーツ・エンターテインメント都市」の実現等について、本日の意見交換のなかで一人ずつ、忌憚のないご意見を頂戴できればと考えております。また、その他として、本日今任期の最後の審議会になります。当任期を終えての感想なども、併せてご発言いただきたく思っておりますので、よろしく願いいたします。

□委員長職務代理者

それでは意見交換に移ります。皆様、忌憚のないご意見をよろしく願いいたします。

□委員

スポーツ推進委員協議会としては、2月に60周年の記念式典を行い、その2週間前には芸術劇場で県大会を実施するなど、連続して大きな行事がありました。

他の市町から人をお呼びするにあたり、「横須賀ってこんなところ」というものを伝えたいと思っています。6年前の県大会では軍港めぐりをしたので、今年は猿島を周回しようと思ったのですが、三笠栈橋が工事中で使えませんでした。ホームページを見たら掲載はされていたのですが、周知徹底や、横須賀は何を売りにしていくかをもう少し鮮明にしたほうが良いのではないかと思います。

以前の審議会でもお話ししましたが、やはり施設（入れ物）が大事だと思います。久里浜にあるパークゴルフ場は、芝生は剥げていて、敷地は狭い。神奈川県下にパークゴルフ場は結構ありまして、中井町のパークゴルフ場はすごく良い芝生です。お金かけて良い施設を作るのも一つの手ですし、ベイスターズタウンやマリノスタウンを核として、人が呼べるような施設をぜひ作っていったらと思います。

□委員長職務代理者

私が所属するスポーツ指導者協議会は、日体協の公認のスポーツ指導者の集まりですが、指導者はたくさんいるけど、活動の場所がない一方で、指導者を求めているが、連携がなく、ずっと探しているという場面が見受けられます。音楽やスポーツといったエンターテインメントの中で、組織が様々な形でリンクしていくのではないかと思います。連携がないとうまくいきません。それぞれの団体が活動しているのはわかっていること

ではありますが、行政がまとめていただいで連携していければと考えておりますのでよろしく願いいたします。

□委員

公募市民として2年間審議会に参加してきて、「横須賀のスポーツといえばこれ。」というのがイメージとして浮かんでできません。サッカーだと静岡、カーリングだと弘前や北見、軽井沢など、すぐに思い浮かべる競技が、なかなか横須賀にはないというところが、スポーツを通してこのまちを活性化させていくという意味では弱いと思います。

オリンピックでも新しい種目が採用されてきます。マウンテンバイクやブレイクダンスなどもこれから入ってくるので、ウインドサーフィンワールドカップは2年続けて津久井浜で行われますが、全国大会は毎年横須賀で行われる、というスポーツを見つけていくことが必要なのではないかと思います。

□委員

私は横浜から横須賀に移住し、トライアスロンの世界大会に実行委員事務局として、今もその仕事を続けています。トライアスロンは中高年に人気のスポーツになり、人口が増えているのですが、それに比例して、海での水泳での死亡事故も増加傾向にあります。それを原因から分析して対策するために、実際に海で泳ぐ安全水泳教室を、横浜在住時代から観音崎を利用して、継続しておりましたが、教室の頻度を高めるために、横須賀に移住しました。三浦半島の環境として、海のスポーツは、ずば抜けたものがあります。住まいは走水ですが、東京湾を一望でき、180度海に囲まれているという最高の立地で、いずれ横浜に戻るつもりで移住してきましたが、こちらに骨をうずめたいと思っております。

スポーツというと、学校体育の流れが日本の歴史ですが、健康保険等々の問題を考えたときに、中高年へのスポーツの対策のほうが、当面の課題であると思います。学童のスポーツの指導ももちろん大事ですが、並行して考えていかなければなりません。

トライアスロンとなると敷居が高いように感じられがちなのですが、よく考えると水泳、自転車、ランニングといった、一般的な生涯スポーツを足したものであって、決して難しいものではありません。特に横須賀は、自転車の愛好者人口が非常に多いです。以前、茅ヶ崎に住んでいましたが、あちらも自転車の人口密度は高かったのですが、こちらのほうが多く、全国一、自転車密度が高い道路だと思っております。同時に、馬堀海岸の直線道路のランナーの人口密度も非常に高いです。その中に数割は外国人さんもいらっしゃいます。地域の施設を利用せずとも、自然な環境の中でスポーツを楽しんでいる人たちが非常に多いまちであることは間違いないです。そういったところをどのように上手く活用し、活性化できるかが課題であると思います。

施設の問題を言うと、不入斗や佐島のプールも利用しております。もったいないことに、夜になると、利用者が私一人の時もあります。

トライアスロンはこれからオリンピック種目で、BMXやマウンテンバイクも以前からオリンピック競技です。新しい競技がどんどんグローバルに広がっているなど、学校体育だけでは根付かない部分が増えているので、既存の考え方ではなく、新しい考え方で取り組んでいかなければいけないと広がっていかないと考えます。スポーツ推進審議会

委員という立場ではこれからは外れることとなりますが、これからも何らかの形で横須賀市のスポーツの推進に協力をさせていただきたく思います。

□委員

先日新聞を騒がせたとおり、人口が40万人を切ってしまうたり、中心市街地の空洞化の問題があるなど、どうしても経済的にも疲弊をしてくれています。

その中、追浜のベイスターズや久里浜のマリノスなどにより、商店街の活性化の機運が高まってきているので、今回、文化スポーツ観光部の中に、商業振興課が一緒に入ってくるということで、今までになかった動きになるのではないかと注目をさせてもらいます。

最近では民間主導で、「横須賀トモダチジャズ」やウインドサーフィンワールドカップ、観光という側面だと、日本遺産の認定とか、三笠艦など、様々な動きはあります。しかしながら、青年会議所さんがマラソンを開催しても、スポーツに参加される方は、そのあと街中を観光したりせずに帰ってしまうということがありました。それぞれ今まではバラバラでやっていたものが、一つのセクションになることで、有機的に連携ができるのではないかと思います。例えば、カレーフェスティバルに合わせたスポーツイベント、観光イベントなど、そういったものを作れば違った形になってくるのではないかと感じます。幸いなことにウインドサーフィンワールドカップにつきましては、津久井浜、長沢地域の商店街が中心となって盛り上げていこうということで、「横須賀ウインドブルー」という商品を作り始めています。一つのセクションになることによって、さらに活性化をしていくのではないかと期待しております。

□委員

体育振興会の代表という形で出席しておりますが、私の学区は歩こう会や運動会など皆様がスポーツに参加してもらえそうな取り組みをしているのですが、参加者も多くなってきているので、今後もラジオ体操など、人を集められるようなイベントを実施していきたいです。また、2年間委員を勤めた中で、行事に参加し、参考になりましたので、これを生かしていきたいと思います。

□委員

横須賀レクリエーション協会の立場で2年間お世話になりました。レクリエーション協会とスポーツ推進委員を兼ねて活動してきたので、この長い間の経験をなんとかスポーツ推進計画の策定の中でお手伝いできないかと思ってまいりました。

横須賀というと、江戸時代から歴史を繋いでおり、軍港という形でこれだけ観光的なものを抱えているので、この魅力を何とか活用し、大きいイベントを横須賀でできないだろうかと思っています。2021年には、ねんりんピックが神奈川で行われるということで、いくつかの競技を横須賀で実施できるように努力をしてまいりたいと思います。よろしくお願いします。

□委員

中学校体育連盟という形で参加をさせていただきました。今年度は8年に一度の神奈川県総合体育大会が横須賀ブロックで開催され、県のほうからも、お褒めの言葉をいただき、大変良かったと思っております。しかしながら、器具などの施設の関係で、横須賀ブロックのみで開催できず、他市の施設をお借りして実施したという競技がありますので、スポーツを謳う横須賀というところでは、是非8年後、横須賀ブロックの中で運営ができるよう、器具等施設面でのお願いをしたいと思います。

話は変わりますが、中学校から高校にかけて、素晴らしい選手が横須賀にいますが、そういった選手を受け皿にする高校がなく、他市に流れてしまっている状態は非常にもったいないと感じます。サッカーは三浦学苑が優勝しているように、いい選手が横須賀の中学校にいますので、高校でも横須賀市内で育てる教育の場面を作っていただければ、横須賀が盛り上がっていくのではないかと思います。2年間ありがとうございました。

□委員

私は東京から横須賀に通っているのですが、京急で「三浦半島めぐり」の資料を持っている人が非常に多く乗ってはいるものの、横須賀中央で下車する人はほぼいなく、ほとんどの人は三浦へ向かうんだなと電車に乗る度に思います。

うちの大学で学会をやろうと思っても、横須賀市内に500人以上が泊まるスペースがなく開催できない現状があります。

この間、平昌に行っていたのですが、平昌で冬のオリンピックができるのなら、横須賀でも冬のオリンピックができるなど感じました。雪が降らないので冬のオリンピックはできないのですが、施設設備などの宿泊規模などは横須賀以下かなと感じる場所だったので、ウインドサーフィンワールドカップだけでなく、世界選手権レベルの大会があるのであれば、できるのではないかと感じます。あと、国体では、よく民泊を使うのですが、「日本を体験したい。」と言っている海外の選手はすごく多いので、民泊を売りにして世界大会を開くなど、そういった視点から進めていくと、トップアスリートにとって良いまちであるという雰囲気が作り出されると思います。

トップアスリートを育てることに限らず、学校でまずは育て、戻ってくる場所がどこになるのかによって、その子の育ちは大きく変わってしまいます。トップアスリートが住むまちを作り出すには、プロのチームをできるだけ横須賀に誘致してみることなどを考えていくと、良いのではないかと感じます。

□委員

スポーツ少年団としては、スポーツを盛り上げるためには、まず団員を増やすことではないかと考え、各チーム等にもお願いし、29年度は60数名ほど増えました。少子化の中での増加ということは大変ありがたいと思います。スポーツ少年団から、すぐにオリンピックを目指せるという子どもたちはいませんが、基礎を作るために頑張っていきたいと思っていますので、委員の皆様から、子どもたちへの指導についてご意見がありましたら、助言いただければと思います。

2年間の感想ですが、事務局の皆様にお世話になりました。事務局は大会を盛り上げて、準備、進行するのは任務なのかもしれませんが、その任務はやらされているのか、あるいは心を込めてやっているのかで大きく違います。事務局の皆さんに挨拶をすると、身を粉にして頑張っている様子が伝わります。任期は終わりますけど、今後ともよろしく願いいたします。

□委員

横須賀肢体障害者協会に属しております。障害者に対するスポーツは、ある程度限定されてしまうものですから、出来ないことも多いです。今は、ダーツとフライングディスクをやっています。この二つは横三地区で各障害者団体を集めて活動しています。先日もフライングディスクの大会をやりました。脳卒中の方も多いものですから、リハビリを兼ねてのスポーツが多いです。ダーツは、自分の得点を計算しながらやらないといけないので、頭の体操にもなります。県の障害者大会もあり、横須賀市代表として参加しています。

□委員

私は自転車で移動をしているのですが、横須賀はやっぱり走りにくいです。しまなみ海道には自転車専用道路があり、たくさんのサイクリストが集まっております。自転車だけではないですが、「横須賀と言ったらこのスポーツ」というのを考えていくのがこれから必要だと思えます。

もう一点ですが、今年アジア大会がインドネシアで開かれます。その次のアジア大会は愛知県で4年後に開かれますが、その中で「e スポーツ」という種目が入ってきます。テレビゲームです。対戦型テレビゲームがアジア大会の種目として入ってくるなど、世界的にはスポーツという枠組みの様です。先日、Jリーグが、テレビ対戦型ゲームでリーグを行うという新聞発表していましたが、どんどん新しいスポーツが出てきているので、その辺も広く網羅していただいて、これから施策を練っていただければと思います。

□委員

ウインドサーフィンワールドカップにつきましては、政策推進課が担当をしていますが、今後はスポーツ振興課に移管してくる動きなどはあるのでしょうか。

□事務局（スポーツ振興課長）

来年度につきましては、政策推進課で担当する予定でございます。将来的に軌道に乗ってくればスポーツ振興課で行う可能性もあります。

□委員

もう一点ですが、先ほど委員から自転車のお話が出ましたが、四市一町で「自転車半島宣言」をされていましたが、その辺をうまく絡めると観光とスポーツが連携できるのではないかと思います。

委員長職務代理者

文化スポーツ観光部ということで期待も大きくなると思うのですが、ぜひ頑張ってください。

4 その他

委員長職務代理者

次にその他ですが、事務局からお願いします。

事務局（文化スポーツ担当部長）

（人事異動について説明）

委員長職務代理者

他にご発言はございますか。

⇒なし

それでは、平成 29 年度第 4 回スポーツ推進審議会を終了いたします。ありがとうございました。